

Part 1

解答

- 1 (1) ウ (2) イ (3) ウ
- 2 (1) step away (2) Are, against
(3) far from (4) came, end
- 3 (1) had been playing
訳: ジェーンは一休みするまでピアノを2時間弾き続けていた。
(2) had long been looking for
訳: サムは長いことずっと探し続けていた本を見つけた。
(3) had been suffering
訳: 人々は長年圧政に苦しんでいた困難な時代のことを決して忘れなかった。

解説

- 1 (1) a-párt-heid ウ. to-géth-er
(ア. dif-fer-ent イ. sép-a-rate)
(2) dis-crím-i-nate イ. con-vén-tion-al
(ア. ór-di-nar-y ウ. ed-u-cá-tion)
(3) e-vén-tu-al-ly ウ. dra-mát-i-cal-ly
(ア. or-ga-ni-zá-tion イ. e-lec-tríc-i-ty)
- 2 (1) a step away from A 「Aまであと一歩」
(2) be against A 「Aに反対である」⇔ be for A 「Aに賛成である」
(3) far from A 「決してAではない, Aとはほど遠い」
Aの位置に来るのは名詞, 動名詞, 形容詞。〈far from being + 形容詞〉の being はしばしば省略される。
(4) come to an end 「終わる, 終結する」
cf. bring A to an end 「Aを終わらせる」
- 3 過去完了進行形 had been doing の形にかえる。
(1) 「彼女が休憩を取ったとき」 (= 過去のある時点) を基準にして, その前から 「2 時間」 (for two hours) ずっと続いていた動作を表す。
(2) 「本を見つけたとき」 (= 過去のある時点) まで 「長い間ずっと探していた」という 〈動作の継続〉を表す。
(3) 動詞 forget の表す過去のある時点を基準にして, それよりもさらに以前の 「圧政に苦しんでいた」時代について述べている。先行詞 the hard times の後に関係副詞 when または that が省略されている。

Part 2

解答

- 1 (1) in captivity (2) at, time
- 2 (1) Realizing the importance of health, the man decided to give up smoking.
(2) Having a lot of homework to do, John couldn't watch the soccer game on TV.

- (3) Opening the present from his parents, the boy cried out with joy.

- 3 (1) Jane felt she was being followed by someone
(2) A new tower is being built in the city
(3) The woman visited the houses asking for food

解説

- 1 (1) be in captivity 「監禁されている, 監禁状態である」
(2) at a time 「一度に, 同時に」
- 2 元の文のどこからどこまでを分詞構文にするかは, 内容と形の両方を見て判断する。
(1) 〈理由・きっかけ〉を述べている前半の realized the importance of health and を分詞構文にする。主語の The man は decided to の前に移す。
「健康の重要性を認識して, その男性は禁煙することにした」
(2) 〈理由〉を表す Since John ... to do を分詞構文にする。主節の主語 he は John と置き換える。
「ジョンはやらなければならない宿題がたくさんあったので, テレビでサッカーの試合を見るができなかった」
(3) When the boy ... his parents を分詞構文に書きかえる。主節の主語 he は the boy と置き換える。
「両親からもらったプレゼントを開けたとき, 少年は喜びのあまり大声を出した」
- 3 (1) 英文の骨組みは 〈feel + that 節〉 「～ような気がした」の構文。that 節の中の 「後をつけられている」を過去進行形の受動態 was being followed で表す。
(2) 「作られている」を現在進行形の受動態 is being built で表す。
(3) 「食べ物をくださいと頼みながら」の部分分詞構文の asking for food で表し, これを空所の最後に置いて, for the poor とつながるようにする。

Part 3

解答

- 1 (1) イ (2) ア (3) ウ (4) イ
- 2 (1) shook hands (2) stepped out
(3) one, another
- 3 (1) The sooner we leave, the better
(2) The closer we got to the center of the city, the heavier
(3) The older he grew, the more careful he became
(4) More and more people have become interested in environmental problems.

解説

- 1 (1) vól-ume イ. mín-ute
(ア. a-chíeve ウ. sup-pórt)
(2) ón-to ア. ál-most

(イ. a-gainst ウ. with-out)

- (3) in-tén-si-ty ウ. cap-tív-i-ty
(ア. grád-u-al-ly イ. in-ter-est-ed)
- (4) át-mos-phere イ. víc-to-ry
(ア. in-clúd-ing ウ. un-der-stánd)

- 2 (1) shake hands with A 「Aと握手する」
hands と複数形にする点に注意。
- (2) step out onto A 「Aに踏み出す」
- (3) one A after another 「(同じ種類のものについて) 1つのAからまた別のAへ、次々にA」
Aには名詞の単数形がくる。

- 3 (1) 〈The + 形容詞・副詞の比較級 ~, the + 形容詞・副詞の比較級...〉「~すればするほど…」の構文を使う。この構文では、〈主語 + 動詞〉が比較級の後に置かれることに注意。If we leave as soon as possible, it will be better. とほぼ同じ意味。
- (2) 「~に近づけば近づくほど」は、get close の close (形容詞)だけを〈主語 + 動詞 ~〉の前に出し、The closer we got to ~ とする。
- (3) 「慎重に友人を選ぶようになった」は「友人を選ぶことにおいてより慎重になった」と考え、became more careful の more careful だけを〈主語 + 動詞〉の前に出して、the more careful he became とする。
- (4) 「ますます多くの人々」は〈比較級 + and + 比較級〉を使って、More and more people と表す。「~に関心を持つようになってきた」は、〈現在までの状態の継続〉を表すので、become interested in ~ を現在完了形にする。

- (2) go into overtime 「延長時間に入る」
「その試合は延長戦に入るだろう」
- (3) physically 「肉体的に」、mentally 「精神的に」
「ケイトは最近、肉体的にも精神的にも[心身ともに]疲れているようだ」
- (4) teammate 「チームメイト」
「健は3年間ずっと裕太のチームメイトだ」

- 3 (1) in favor of A 「Aに賛成して、Aにとって有利で」
⇔ against A 「Aに反対して、Aにとって不利で」
- (2) end with A 「Aで終わる」
- (3) go into overtime 「延長時間に入る」
- 4 (1) 直前の節全体を先行詞とする関係代名詞 which の非限定用法。「ワールドカップに優勝した。そのことが(=which)国中を熱狂させた」と考え、1番目の文(... won the World Cup)のあとにコンマ(,)を打ち、which を続ける。the whole ~ 「~全体」
- (2) 「トムは~をあげた。それは(=which)彼にしてはととても特別なことだった」と考え、1番目の文(Tom gave her a present)のあとにコンマを打ってから、関係代名詞 which を続ける。special 「特別な」
- (3) 「~するのはどんな感じですか」は、What does it feel like to do? で表す。it は to 以下を受ける形式主語。feel like ~ 「~のような気分である」の「~」(前置詞 like の目的語)をたずねるので、疑問詞は what を用いる。

Part 4

解答

- 1 (1) ウ (2) イ
- 2 (1) tied (2) go (3) mentally
(4) teammate
- 3 (1) in favor (2) ended with
(3) went, overtime
- 4 (1) won the World Cup, which excited the whole country
(2) gave her a present, which was very special to him
(3) What does it feel like to drive the new car

解説

- 1 (1) ó-ver-time ウ. prís-on-er
(ア. per-fórm-er イ. pre-sént-er)
- (2) phýs-i-cal-ly イ. tém-per-a-ture
(ア. im-pós-si-ble ウ. com-mú-ni-cate)
- 2 (1) (be) tied at A 「Aで同点になる」
「私とその試合を見たとき、得点は7対7の同点だった」

まとめの問題

解答

- 1 (1) a. in b. at
(2) This island was still being used as a prison
(3) When, saw
(4) 囚人たちがイギリスのチームと対戦するスプリングボクスの試合をラジオで聞いていたこと。
(5) a. F b. T c. F d. F e. T
- 2 (1) ① (2) ② (3) ③ (4) ④
(5) ⑤ (6) ⑥ (7) ⑦ (8) ⑧
- 3 (3), (4), (6)

解説

- 1 (1) a. be in captivity 「監禁されている」
b. at a time 「一度に」
- (2) 「まだ~として使われていた」を過去進行形の受動態 was still being used as ~ で表す。
- (3) Seeing that tiny room 「その小部屋を見たとき」という意味なので、接続詞 when を使って書き換える。主節の動詞 realized にあわせて、When they saw とする。
- (4) この this は、囚人たちがスプリングボクスの選手たちに話したこと、つまり前文(10~11行目)の they(=the prisoners) had been listening on the

radio to the Springboks' games against a British team を指す。they の指すものを具体的に示して、答えをまとめる。

- (5) a. 「スプリングボクスの主将は、マンデラの考えは彼らの国にとって良いとは思わなかった」本文1行目に supported Mandela's idea とある。
- b. 「時間が過ぎるとともに、スプリングボクスの選手たちは、自分たちは国のために何か重要なことができるのだとわかるようになった」本文1～4行目と一致する
- c. 「独房はスプリングボクスの選手たち全員が入れるだけの広さがあった」本文6行目の内容と一致しない。独房は一度に1～2人しか入れないほど狭かった。
- d. 「独房を訪れたとき、スプリングボクスの選手たちはアパルトヘイトの体制のもとで白人がどんなに苦しんでいたかを理解した」本文7～8行目の内容と一致しない。アパルトヘイトで苦しんでいたのは黒人 (black people) である
- e. 「多くの人々にとって、過去を忘れスプリングボクスを応援することは簡単ではなかった」本文13～14行目と一致する。

- 2 (1) 「アパルトヘイト制度のもとで、黒人は白人と離れて暮らさなければならなかった」教科書 p.150 の8～11行目参照。
- (2) 「南アフリカでアパルトヘイトが終わったとき、白人と黒人はまだお互いを嫌っていた」教科書 p.150 の16～21行目参照。
- (3) 「黒人はスプリングボクスがとても嫌いだったので、外国のチームを応援した」教科書 p.150 の24～27行目参照。
- (4) 「選手たちが囚人たちにメッセージを送った後、囚人たちは選手たちのために歌い始めた」教科書 p.151 の12～14行目参照。
- (5) 「スプリングボクスが試合に勝てば勝つほど、ますます多くの黒人たちがラグビーをし始めた」教科書 p.151 の20～21行目参照。
- (6) 「人々がフィールド上にいるネルソン・マンデラを見たとき、彼らはとても静かになった」教科書 p.151 の26～29行目参照。
- (7) 「白人の観客たちが『ネルソン！ ネルソン！』と繰り返し詠唱し始めた」教科書 p.151 の30～32行目参照。
- (8) 「人々がその試合を記憶に残すために、スプリングボクスはその試合に勝たなければならなかった」教科書 p.152 の1～2行目参照。

- 3 (1) 「マンデラは、南アフリカの大統領になった後、警察に連行された」教科書 p.150 の12～16行目の文で、マンデラは警察に連行されて刑務所に入れら

れ、解放された後に南アフリカの大統領になった、とあるので一致しない。

- (2) 「アパルトヘイトをやめるために、マンデラはスポーツを利用できないかと考えた」教科書 p.150 の22～23行目の文で、「人々にお互いにより親密になってもらうために、マンデラはスポーツを利用できないかと考えた」とあるので一致しない。
- (3) 「マンデラの独房はとても小さかったので、スプリングボクスの選手全員が入りきらなかった」教科書 p.151 の4～6行目の内容と一致する。
- (4) 「囚人たちがラジオを聞いていたとき、彼らはスプリングボクスとイギリスのチームの試合を聞いた」教科書 p.151 の10～12行目の内容と一致する。
- (5) 「マンデラでさえ黒人に過去を忘れさせることに苦勞して、ついに彼はあきらめた」該当する記述はない。
- (6) 「ワールドカップ以前は、南アフリカの人々の中にはラグビーのルールを知らない人もいた」教科書 p.151 の18～20行目の内容と一致する。
- (7) 「スプリングボクスは9対6でオールブラックスに勝利した」教科書 p.152 の3～5行目の文で、「しかし、後半でオールブラックスが得点し、通常のプレーは9対9の同点で終了した」とあるので一致しない。
- (8) 「テレビのインタビューで、マンデラは『私たちに4,300万人の南アフリカ国民がいる』と言った」教科書 p.152 の15～16行目の文で、「彼(=ピナール)は答えた。『…4,300万人の南アフリカ国民です』」とあるので一致しない。